「徹底攻略　確率統計」（共立出版，2012）初版３刷/４刷　の訂正

2020.6.23 真貝寿明

- **初版 ３刷**（2014/9）**初版 ４刷**（2017/2）について，たいへん申し分けありませんが，次の訂正があります．
- このお知らせは，`http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/book/` にて更新しています．
- 表の左の「修正刷」欄で，「5」とあれば，5 刷から修正されたことを意味します．4 刷をお持ちの方は，5 以降のものをご参照ください．

修正刷	場所	誤	正	
4	p50	例題 1.20	解答例の (1) と (2)	(A) と (B) に
4	p63	例題 1.40	解答下から 2 行目 $= P(A\|B)\cdot P(\overline{B}\|S)\cdot P(S)=\cdots$	$= P(A\|\overline{B})\cdot P(\overline{B}\|S)\cdot P(S)=\cdots$
4	p63	例題 1.40 傍注	(4) の 3 行目 $P(\overline{S}\|A\wedge\overline{B})=2/9$	$P(\overline{S}\|A\wedge\overline{B})=1/9$
5	p97	3 行目	グラフは，n が大きくなるほど	グラフは，λ が大きくなるほど
5	p110	下から 8 行目	2010 年では 68.91 点である．	2010 年では 67.80 点，2015 年では 66.33 点である．
5	p111	(2.6.9)	シグマ記号内の R_{ij}	R_{ij}^{-1} に
7	p116	例題 2.35 (2) 解答	(1) と同様にして，時刻が $T_k\le t$ となる累積分布関数 $F_k(t)$ は，$F_k(t)=P(T_k\le t)=\sum_{i=k}^{\infty}e^{-\lambda t}\frac{(\lambda t)^i}{i!}$	(1) と同様にして，時刻が $S_k\le t$ となる累積分布関数 $F_k(t)$ は，$F_k(t)=P(S_k\le t)=\sum_{i=k}^{\infty}e^{-\lambda t}\frac{(\lambda t)^i}{i!}$
4	p122	(3.1.13)	$P(\|\overline{X}-\mu\|<\varepsilon)\ge 1-\frac{\sigma^2/n^2}{\varepsilon^2}$	$P(\|\overline{X}-\mu\|<\varepsilon)\ge 1-\frac{\sigma^2/n}{\varepsilon^2}$
4	p124	図の中央	$N(\mu=500/6,\sigma^2=50/6)$	$N(\mu=500/6,\sigma^2=(50/6)^2)$
7	p134	中ほど	分散 (0.1.4) は，	分散 (4.1.2) は，
7	p142	下から 5 行目	a,b の十分条件は，	a,b の必要条件は，
7	p173	(5.2.3) 左辺 (5.2.3) 直後	$V[\theta]$ $V[\theta]$	$V[\hat{\theta}]$ $V[\hat{\theta}]$
7	p184	公式 5.6 直前	母平均 p の区間推定の範囲	母比率 p の区間推定の範囲
7	p185	例題 5.10 解答	（初めの不等式の） <0.02	≤ 0.02
7	p192	中ほど	標本の大きさ n が大きくなれば，第 1 種の誤り α は一定となってくるので，第 2 種の誤りが生じる確率 β も次第に小さくなる．	標本の大きさ n が大きくなれば，第 1 種の誤り α はより小さな値で設定することができ，第 2 種の誤りが生じる確率 β も次第に小さくなる．
4	カバー	裏表紙	$N(\mu=500/6,\sigma^2=50/6)$	$N(\mu=500/6,\sigma^2=(50/6)^2)$

以下は訂正ではなく，追記です．

	場所	誤	正
p iv 序	下から 4 行目	`http://www.is.oit.ac.jp/~shinkai/book`	`http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/book`
p94	例題 2.22	傍注追加	この結果，大まかに 30±4.58 人と予測することができる．
p110	表	2010 年の欄　進学率 57% 2015 年の欄　進学者?　進学率?	進学率 56% に 進学者 68 万人 進学率 57% に
p138	問題 4.2 直前	$\|r\|=1$ となる条件がわかった．	$\|r\|=1$ となるのが「データが直線状に分布するとき」であることがわかった．
p194	コラム 32	一番最後に文追加	(その後，この実験は PC へのデータ供給のケーブルの緩みが原因で解析結果が誤っていたことが判明した．)

以上です．